

1. 上越市の自殺予防の取組

市では、自殺予防の取組として「気づき・傾聴・つなぐ・見守る」体制づくりを平成26年度から継続して行っています。自殺に至るには、3～4つの要因が複雑に絡んでいることが背景にあると考えられます。「自ら選んだ死」ではなく、複数の要因などから「追い詰められた末の死」と言われ、自殺はその多くが予防できる社会的な問題です。かけがえのない命を皆で守りましょう。

2. 自殺の実態と特徴

上越市の自殺者数・・・1年間に50人前後 男性は女性の倍

- 新潟県の自殺死亡率は全国4位と高い傾向にあります。(図1)
- 上越市の自殺死亡率は新潟県の平均よりもさらに高い年があります。(図1)
- 男性の自殺死亡率が高い傾向にあります。(図2)
- 男性は青壮年、男女ともに高齢者の自殺死亡率が高い傾向にあります。(図2)

①自殺者数・・・年間の自殺者の実人数

上越市では、平成23年 70人(男49人、女21人)



平成27年 50人(男33人、女17人) と減少傾向となっています。

②自殺死亡率・・・人口10万人当たりの自殺者数。人口規模の違う、国や県などの他の自治体との比較に使います。

図1. 国・県と比較した上越市の自殺死亡率(人口10万対)

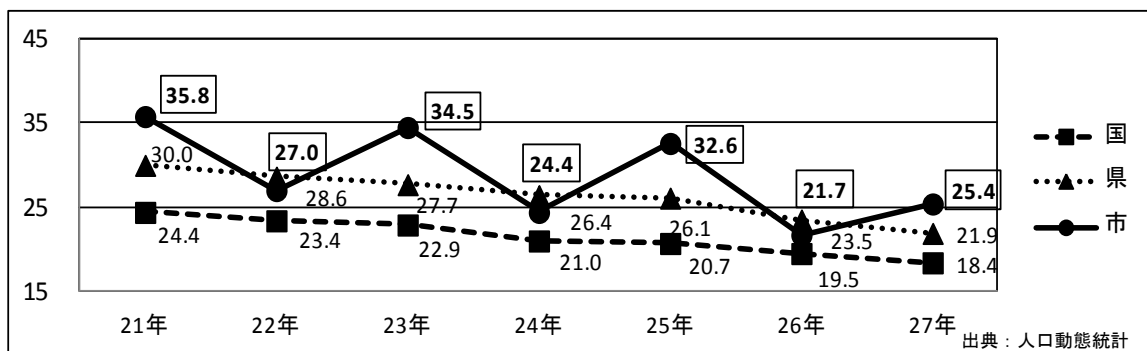
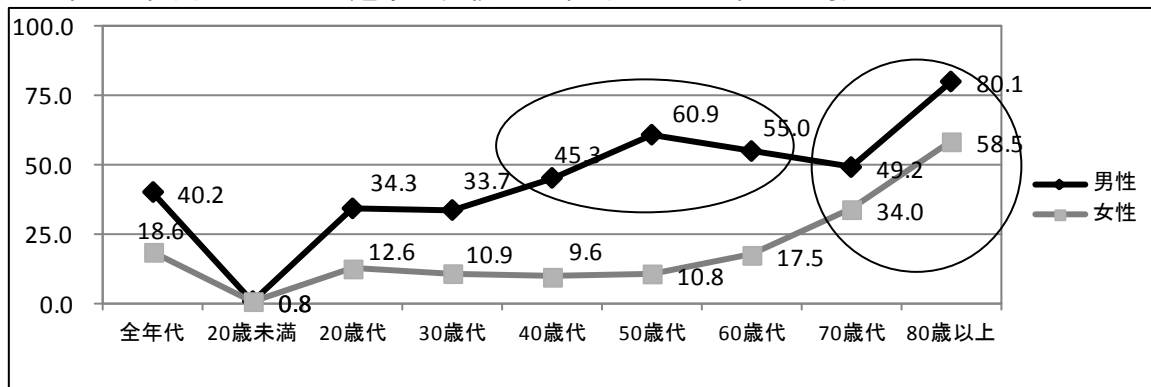
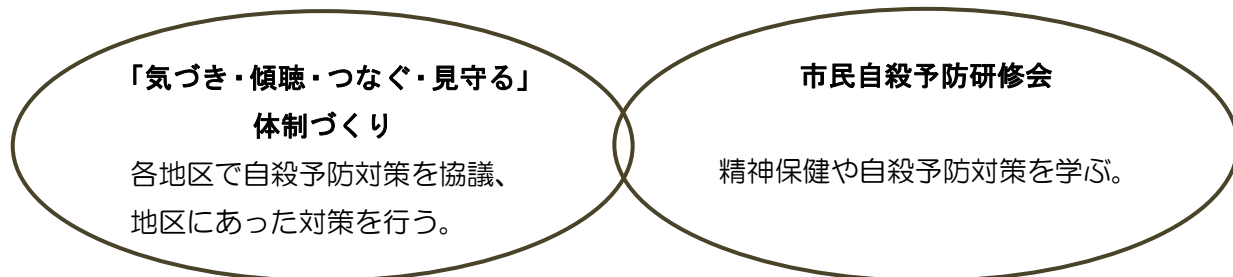


図2. 年代・性別からみる上越市の自殺死亡率(H21～27年の平均)

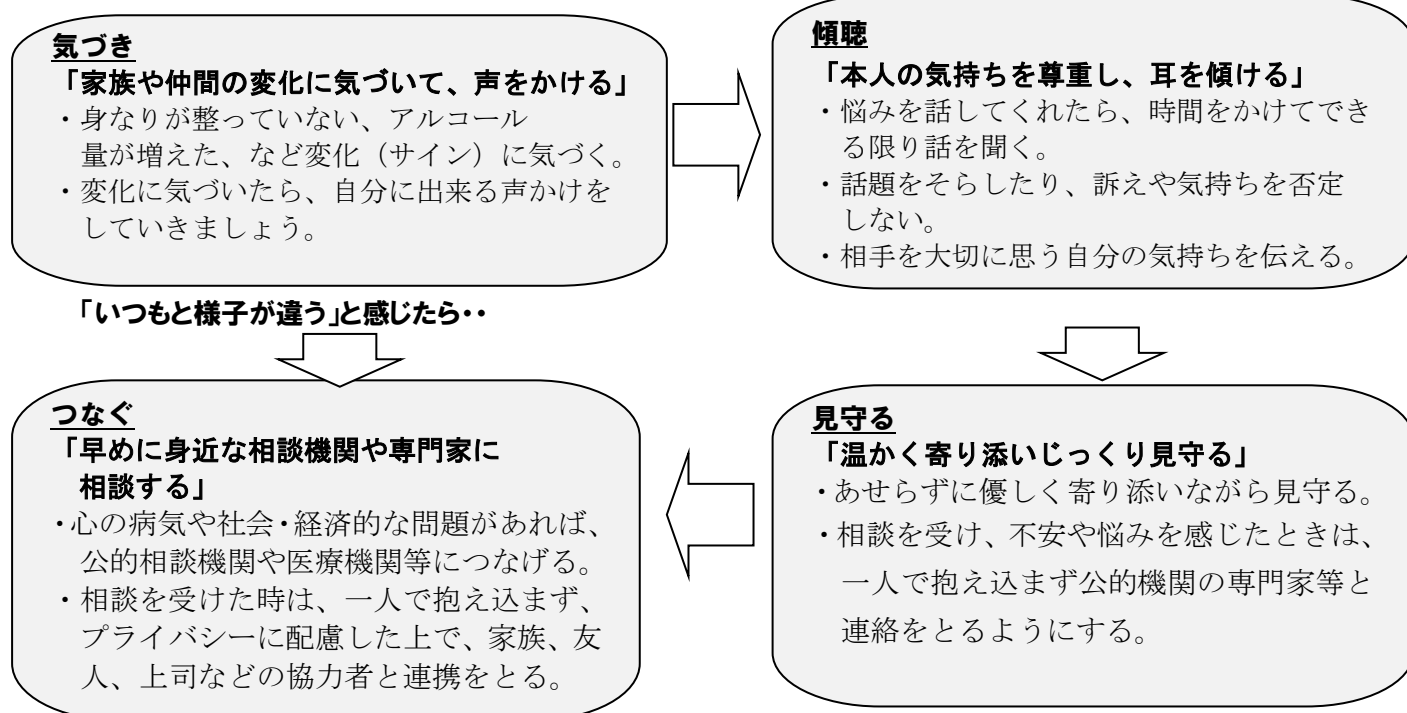


3. 「気づき・傾聴・つなぐ・見守る」体制づくりと「市民自殺予防研修会」

自殺予防のためには、自殺の現状を把握し、地区の実情にあった取組が必要となります。「気づき・傾聴・つなぐ・見守る」体制づくりにおいては、効果的な自殺予防対策を展開するため、地区の課題を共有し関係機関と連携した取組を目指しています。



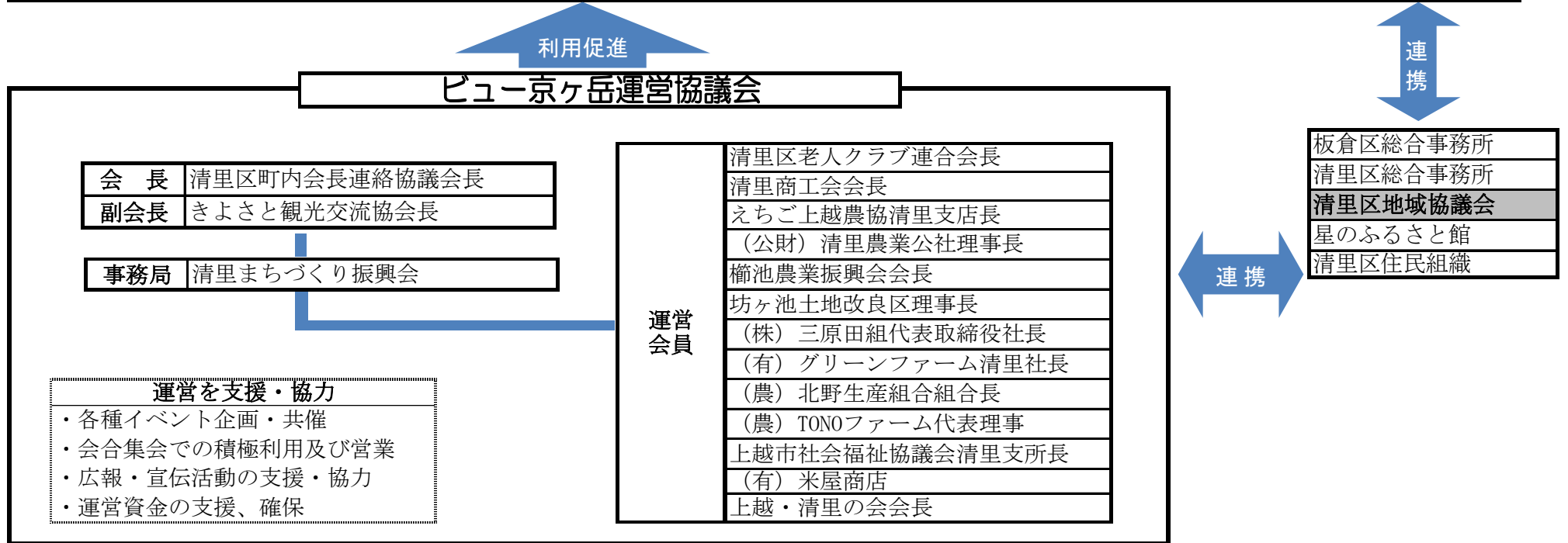
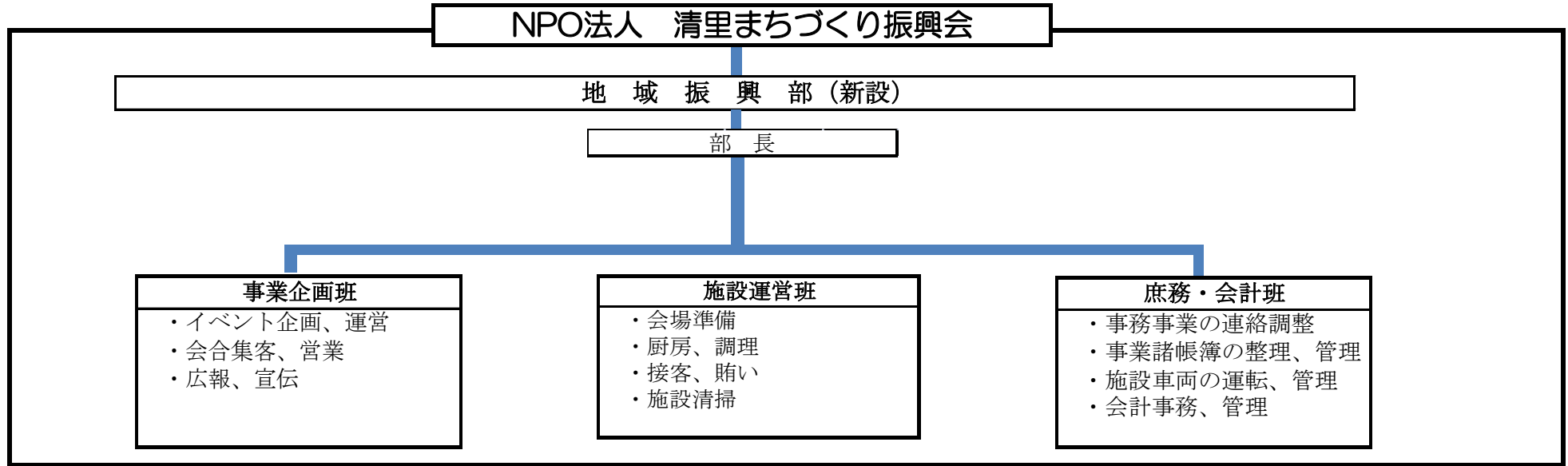
4. 「気づき・傾聴・つなぐ・見守る」とは？



■無料相談案内

	相談窓口	電話番号	開設日	開設時間
市	■こころの健康サポートセンター (上越市健康づくり推進課内)	025-526-5111	月～金曜日 (祝祭日除く)	8:30～17:15
	各総合事務所市民生活・福祉グループ	※各総合事務所へ		
県	■上越地域いのちこころの支援センター (上越地域振興局内) *自殺予防専門相談機関	025-524-7700	月～金曜日 (祝祭日除く)	8:30～17:15
	■上越地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 (上越保健所)	025-524-6132		
	■新潟県こころの相談ダイヤル	0570-783-025 (ナヒ・タ・イヤル なやみなしにいがた)	年中無休	24時間
	■新潟県精神保健福祉センター	025-280-0113	月～金曜日 (祝祭日除く)	8:30～17:00
民間	■新潟いのちの電話	025-522-4343	年中無休	24時間
	■よりそいホットライン	0120-279-338 (通話無料)		

管理運営体制 組織図



平成29年度清里区地域協議会委員視察研修日程表

1. 期 日 平成29年7月28日(金)
2. 視察場所 十日町市(市役所、瀬替えの郷せんだ、竹所シェアハウス・カフェエローハウス)
3. 目 的 ・十日町市における高齢者支援事業の取組について(高齢者支援)
 ・仙田地区における「地区マネージメント法人」としての取組について(集落づくり)
 ・竹所集落における移住・定住促進事業の取組について(移住・定住促進)
4. 日 程

時刻	行程	説明
9:00	清里区総合事務所:発 ・県道30号線・R253経由	・地域協議会委員 10名 ・清里区総合事務所 6名、集落づくり推進員 1名
10:30	十日町市役所着 〈医療介護課・医療お年寄り支援係〉 研修① ・高齢者の生きがいと健康づくり事業 (たっしやで100事業) ・高齢者安心サービス事業(スマイルポイント事業)	・健康づくりや生きがいづくり、介護予防事業に参加した人にポイントを付与し、20ポイントで市内入浴施設の無料入浴または障害施設授産品(トイレトペーパーやクッキー、かりんとうなど)と交換できるものです。 ・高齢者と地域の皆さんから事前に登録いただき、困りごと(買い物、掃除・洗濯、調理、ごみ捨て、草取り、降雪時の玄関先の道付け)をサポートできる場合にサービスを実施し、15分毎に1ポイントを付与し、クオカードと交換できるものです。
11:30	十日町市役所:発 ・県道340・R252経由	
12:00	道の駅「瀬替えの郷せんだ」:着	・昼食:おにぎりセット700円
13:00	〈株)あいポート仙田〉 研修② ・株式会社あいぽーと仙田の取組	・過疎、高齢化の進展により、農業後継者不足やJA、店舗の撤退により地域活力低下などの課題が出ていた。このような中、地区の状況に危機感を持った有志が平成22年に「株式会社あいポート仙田」を設立し、(1)農業支援、(2)高齢者支援、(3)地区の生活支援を中心に事業を展開し、地区の便利屋「地区マネージメント法人」として、地区の維持・活性化に向けた取組を行っている。平成25年度過疎地域自立活性化優良事例「総務大臣賞」受賞
13:45	道の駅「瀬替えの郷せんだ」:発 ・R252・県道49・R253・R403経由	
14:45	十日町市竹所シェアハウス:着 〈農林課・農業企画係〉 研修③ ・十日町市(竹所)への移住・定住促進を目的とした移住体験施設の視察 研修④ ・「竹所のキセキ」について(カフェエローハウス)	・十日町市では、スローライフを実現したい移住希望の方々に、お試し移住の場として利用していただくため、空き家を改修し「シェアハウス」として2棟整備した。竹所シェアハウス(移住体験施設)は、平成28年4月にオープンし、入居者を募集している。※新水シェアハウスは平成29年4月オープン ・カフェエローハウス内見学、休憩:コーヒー代500円 ※建築家カール・ハインツ・ベンク夫妻は平成28年度ふるさとづくり大賞「大賞」受賞
15:45	十日町市竹所カフェエローハウス:発 県道13号・R253経由	
17:00	清里区総合事務所:着	・研修成果懇談会